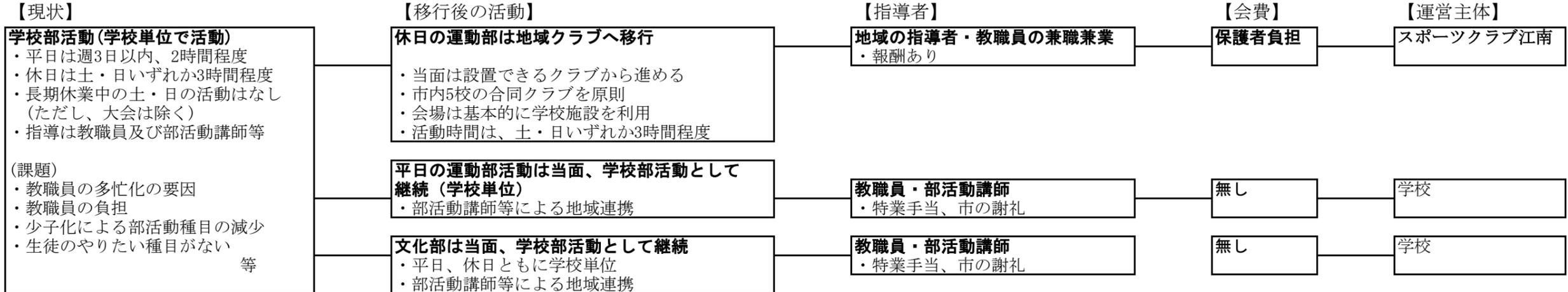


江南市の方針 ～学校部活動の地域移行に向けて～

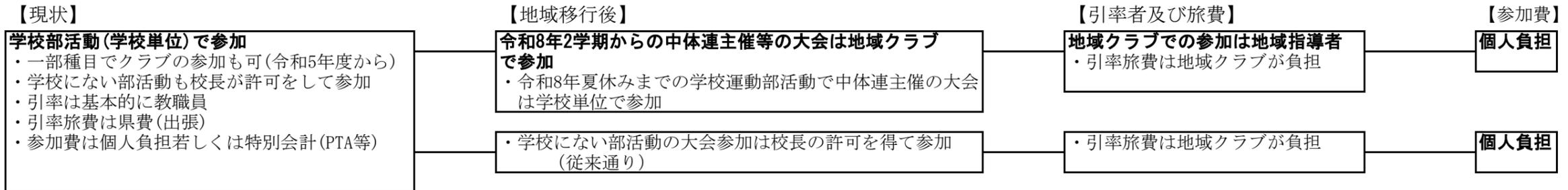
◎江南市の基本的な考え方

- 1 文部科学省及び愛知県教育委員会のガイドラインを参酌し、まずは休日の学校運動部活動を地域に移行する。ただし、移行できる種目から実施する。
- 2 地域移行の開始年度は、令和8年度の2学期からを目標とする。
- 3 当面、平日の運動部活動及び文化部については、日課の工夫等により教職員の負担軽減の工夫を図り学校部活動として実施する。課題を解決し、令和11年度を目標に体制が整い次第、順次移行する。
- 4 運営主体は、スポーツクラブ江南を第一候補とし、国・県の実証事業を受託して、移行における課題を検証する。
- 5 学識経験者、関係スポーツ団体、学校関係、保護者代表等による検討委員会及び作業部会を設置し、種目、会場、保護者負担、指導者の確保等の課題を検証しながら江南市の地域移行を進めていく。

◎江南市の地域移行



◎大会参加の基本的な考え方



◎地域移行推進のための検討事項

- 1 令和8年2学期から、学校部活動は平日のみ実施する。
- 2 令和8年夏休みまでの会場の割り振りは、学校部活動が活動できる時間帯を確保する。各学校(体育館・グラウンド)とも土・日すべてを地域クラブの活動に充てない。
- 3 地域クラブに参加する生徒は、スポーツクラブ江南の会員として登録し、各種目ごとに参加費を支払う。2種目以上の場合は、その種目ごとに参加費を支払う。参加は任意とする。
- 4 保険等の加入は保護者負担として、スポーツクラブ江南が一括して行う。
- 5 市はスポーツクラブ江南が持続可能な地域クラブを運営できるよう、資金面・運営面で十分な支援を行う。
- 6 休日に活動する文化部についても、運動部活動と同様に地域移行を検討する。
- 7 平日の部活動や文化部の地域移行については、現状、指導者の確保及び運営主体を担う団体の有無・負担を考えると困難であり、当面は、日課等を工夫したり、学校運営協議会と連携したりして、教職員の負担軽減を図りながら学校部活動で実施する。
このことで、教職員の多忙化の軽減とならないことは学校運営上、大きな課題であるが、指導をチーム体制で行うなど、顧問一人に負担がかからないよう配慮する。
- 8 地域移行は、令和8年度の2学期からを目標とするが、学校部活動にない種目(バドミントンなど)においては、その時期を待たずに正式な地域クラブとして、発足することも可とする。
- 9 現在の小学生と保護者及び市民に、地域移行の検討内容を正確、丁寧に周知していく。